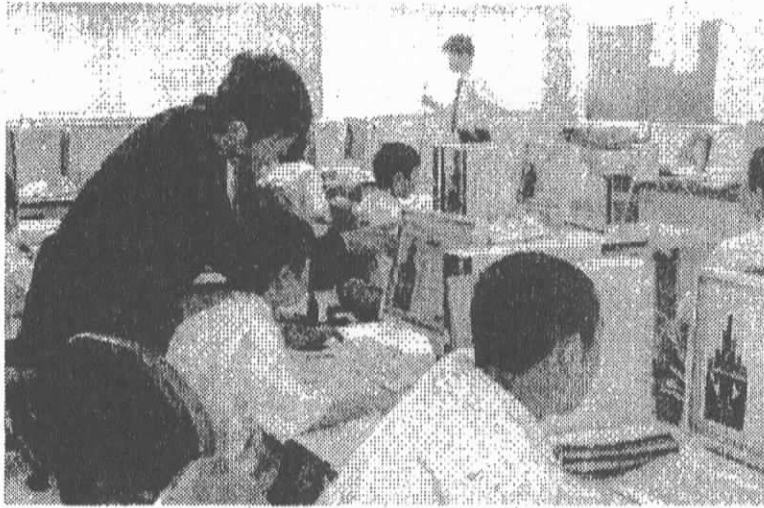


平成 25 年 11 月 1 日(金)

南九州新聞掲載

本校生が小学生に授業を実施



高校生から説明を聞く串良小学校児童

PCでオリジナルカレンダー

串良商高生が小学生に授業

社会の仕組み教えキャリア教育にも

高校生が小学生に授業するパワーアッププロジェクトが30日、県立串良商業高等学校(橋口紀文校長、生徒360人)で開催された。同高では、高校生が小中学生に経済社会の仕組みを教え、キャリア教育に役立てたいと、「高校生による小学生への授業実施」を企画した。

串良小学校でパソコンに関するアンケートを6月14日に取り、パソコン能力調査のため10月2日に授業見学した。小学生が何を望んでいるかなどを検討し、パソコンでオリジナルカレンダーを作成することにした。

1ヶ月程度かかり、有田浩一郎マーケティングリサーチ部顧問の指導を受けるなどして、資料作成し、小学生にパソコン指導することにした。串良小学校6年生全員の42人が串良商業高校情報パソコン室に集まり、授業が行われた。

授業は3年生の持富英靖さんら4人が、手作りのテキスト

ト「ハイスクールスケジュールシート体験学習」を使い、パソコンで各自が「手作りカレンダー」を製作した。

デジタルカメラを使って写真撮影し、パソコンにデータを取り込んでカレンダーに貼り付け、文字を大きくしたり文字の色を変えたりして、オリジナルのデザインカレンダー

を作った。

福元那菜瀬さんは「難しくなったが家でもできそう」と、佐藤遙さんは「写真の取り込みと文字操作ができるようになった」と話した。指導した持富さんは「みんなの反応が良く、良い経験で勉強になった」と話した。